

③業務の実施方針 | 設計段階、工事段階の業務の実施方針 | 工事段階の業務の実施方針

「完成期限」「事業費」「品質」「安全」「地球環境と周辺環境」「セキュリティ」及び「快適職場」を重視したマネジメントを実施します

## 1 工事段階の業務の実施方針

**A** 設計意図伝達を第1期事業のスタッフが継続して行い、設計意図を正確かつタイムリーに工事監理者及び施工者へ伝えます。

**B** 工事監理の独立性を確保し、工程進捗に合わせた図面等の承諾及び品質検査を実施します。

**C** 単独施工の強みを活かした指揮・命令・決定のシンプル化、工程調整の一元化、品質・安全等管理レベルの同一化、及び、情報管理の一元化を行います。

## 2 設計業務（設計意図伝達）の具体的方策

### 1 意図伝達業務の前倒し

#### ①第1期事業期間中から早期参画している専門工事会社の知見を活用

● 実施設計段階から専門工事会社の意見を取り入れた設計図書により、施工図、製作図に対して設計意図の多くを反映します。

#### ②設計スタッフによる意図伝達業務の実施

● 設計スタッフによる継続的な業務実施により、スムーズな意図伝達をおこないます。

### 2 設計変更工程の共有

#### ①工事進捗に合わせた設計変更手続きの想定と共有

● 工事途中に法的に必要となる中間検査、完成検査に加え、消防関連検査及び工事の進捗に合わせた設計変更申請手続きを第1期事業開始時点から想定します。

● 長期的な設計変更の見通しを明確にすることで、工事に影響をおよぼさない設計変更可能な期日を関係者で早期に共有します。

## 3 工事監理業務の具体的方策

### 1 確実な品質管理

#### ①第三者監理の視点に重点を置いた工事監理チーム

● 設計事務所監理専門スタッフ、建設会社監理部門の協働により、スムーズに業務を実施し、監理品質を確保します。設計チーム、施工チームから独立した第三者の視点で品質確保に取り組みます。工事監理チームが独自に意思決定・コントロールを行い、設計チーム・施工チームとは独立した視点で確実に品質を確保します。特に構造躯体や隠蔽部に特に重点を置き、きめ細かく図面検討や、施工状況確認及び検査を行います。

#### ②品質記録を充実

● 工事監理記録、検査記録を的確に管理/整備し、品質記録の充実を図りトレーサビリティを確保します。

### 2 共同企業体の特徴を活かした品質管理

#### ①常駐監理と場外監理の業務分担

● 場内での工事監理業務、書類整備業務、検査確認業務と、これ以外に発生する場外検査業務を工事監理企業体で適切に業務分担し、工事工程重視、第三者目線重視の両立を図ります。

### 3 工期、事業費の遵守

#### ①関係者全体で共有し、工期・事業費を遵守

● 工事着手前の準備期間で合意した、工種ごとの資機材発注や施工図承諾スケジュールを施工者と継続して共有、きめ細かく進捗管理することで、着実に工期を遵守します。設計変更情報は発注者を含め関係者全体で迅速に共有し、工事に影響のない対応を行います。

● 施工図・製作図は設計者の確認を含め、確実に監理者承諾をおこない、施工を進めます。

## 4 工事施工等業務（工事施工）の具体的方策

### 1 強いプロジェクト組織作りと必要数の人員確保

#### ①複数の工事運営マネジメント経験者を配置し本プロジェクトを最優先した本社・支店の支援体制を構築

● 膨大な業務量を消化するために「指示・命令」と「報・連・相」がシンプルな組織体制とし、かつ、組織の要となる役職にはマネジメント力の高い人材を配置します。

#### ②工程計画に見合った必要数の工事担当者を配置

● 不測の事態への対処も想定した施工体制とします。

#### ③専門工事会社の組織と緊密に連携

● 専門工事会社の営業・技術担当者が保有する専門性の高い技術力や管理能力も積極的に活用します。

#### ④監理技術者の下、作業所長・安全環境長・事務長が一体となった組織運営

● 監理技術者の下に、複数の現場マネジメント経験者を配置します。

### 2 工期・事業費の遵守

#### ①市況によるコスト変動の影響を緩和

● 市況変動の影響が予想される労務と資機材を確実に調達するため、専門工事会社と早期に契約します。

#### ②発注者からの要望を設計変更協議会で一元管理します

● 設計変更情報の早期把握と対応方法の早期決定を目指し、コストと工程への影響をすみやかに回答します。共同企業体だけで提案金額と完成期限の遵守が困難な場合は、発注者に速やかに報告し、要求水準の変更を含む改善策を検討させて頂きます。

#### ③総合工程表及び総合施工計画を各工種の施工計画へ早期に展開し、労務と資機材を必要な時期に確保

● 設計段階で計画した労務や資機材の山積み表を更に詳細な調達計画に展開します。

#### ④ソフト工程及び施工図等の承諾工程を重点的に管理

● もの決め及び施工図等承諾の工程進捗を重点管理し、遅延の可能性が予見された時点で改善策を講じます。

#### ⑤実施設計段階・工事段階における徹底したコスト管理

● 実施設計段階から精度の高い施工図に着手し、早期発注が可能な体制を構築します。

● 「躯体～仕上完了までの作業フロー」を定めることにより「無駄な仮設の徹底的な排除」を行います。

#### ⑥シンプルで迅速な意思決定をする組織

● 単独施工により、会社としての意思決定や判断がスピーディーにできる特徴を活かします。

● 別途工事も本体工事と同様に、担当者を配置し事業全体が円滑に進められる体制を構築します。

### 3 引渡し後の品質不良の防止

#### ①品質チームの指導の下、自主検査を確実に実施し、工事監理検査を受検

● 品質チームは作業所の自主検査結果を第三者的立場で確認します。重要な品質検査については抜取検査や自主検査の立会いを実施します。

#### ②工区調整、異業種間の作業引渡し条件、隠蔽となる部分を重点的に管理

● 工区間や異業種間の工程調整を確実に実施し、適正な作業環境と施工期間を確保します。隠蔽部などは施工写真や検査記録を保存します。

#### ③100年間、大規模修繕を不要とする構造体の品質管理の徹底

● 施工技術検討業務から参画したメンバーが工事・工務の責任者として、設計品質を確実に施工品質に取込みます。

### 4 重大災害防止策の実施

#### ①重点管理が必要な作業については、施工計画の事前安全審査を実施

● 危険性の高い作業については、安全環境長による安全審査に加えて、代表企業安全部門にて、工事管理についての事前安全審査を実施します。

#### ②安全環境担当と工事担当者が現場を二重にチェック

● 工事担当者による現場安全巡視に加えて、安全環境担当が安全に特化した視点により細かい安全チェックを実施します。

#### ③第三者災害防止と周辺環境に配慮した作業計画を立案

● 安全環境担当が地域住民や一般車両運転者・通行人の目線で作業計画等をチェックし、必要な改善点を工事担当者へ指示します。大型工事車両の入退場や一日の車両台数が多いダンプ車や生コン車などの動線に留意します。

### 5 地球環境負荷の低減

#### ①法令遵守に加えて、自主的な環境負荷低減活動を実施

● 施工段階CO<sub>2</sub>排出量を削減します。  
● 建設廃棄物、汚染土壌、工事排水、有害な化学物質を適正管理します。

#### ②リサイクル率96%の達成

● 各工区に大型の産業廃棄物分別ヤードを設置し、分別指導員を常駐させ、リサイクル率96%を達成します。

### 6 工事中のセキュリティ管理

#### ①VVIPなどのセキュリティに係る情報の管理を徹底

● 情報管理レベルを適正に設定し、情報の取り扱い規定を定め、漏洩を防ぎます。

#### ②現場に入場する車両、作業員、来訪者などの入退場管理を徹底

● 通門管理システムを構築し、適切な入門管理をおこないます。

#### ③単独施工による工事情報一元化の優位性の活用

● 情報管理システムを利用して情報を一元化し、情報管理の徹底及び情報漏洩の防止に努めます。  
● 文書の履歴管理を行い、文書管理責任者を配置します。

### 7 積極的な情報公開

#### ①外部からの情報公開の期待に対して発注者に協力

● 発注者と情報公開対象と公表ルールについて協議し、施工経過を適宜お知らせいたします。

### 8 人々から愛される建設現場

#### ①底上プランターユニットを市民参加活動へ利用

● 軒庇上部の植栽はプランターユニットになっています。建設時に作業所内にいくつかプランターを設置して、作業所に来訪して頂いた方々が種まきや苗木を植えるなど市民参加型の活動を企画します。

#### ②地域住民の生活環境配慮と安全確保

● 近隣対応窓口を設置し、近隣の方々のご意見、ご要望に対して誠意をもって対応します。  
● 騒音・振動自動モニタリングシステムを設置します。  
● 通学路の確認等の地域の生活環境を調査し、工事計画に反映することで近隣の安全安心を確保します。

### 9 日本の伝統文化の発信

#### ①日本の職人の技術・匠を世界に発信

● 日本の職人の高い技術と安全・品質への拘りを世界にアピールします。  
● 社会保険対応等、職人の生活を向上させるモデル現場としての役割を積極的に果たします。  
● 誰もが働きやすい環境・施設整備を徹底し、快適職場を実現します。  
● 積極的に若手の職人を受け入れ、技術や安全意識の向上を促し、次世代の建設業を支える人材を育成します。  
● 作業所スタッフに女性を積極的に採用を行い「けんせつ小町」チームを編成し、女性目線の現場管理をおこないます。